別添１

# 仕様書(愛媛県歴史文化博物館電話交換システム更新作業)

## 1.1 納入機器数量

納入機器および数量は以下の通り。

| 項目 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|
| 本体 IP 電話交換機 | 一式 | 電源装置含む |
| 停電用電池 IP 電話交換機停電用電池 | 一式 | 停電対応最大３時間 |
| デジタル多機能電話機 | 25 台 | 内９台コードレスタイプ |
| アナログ一般電話機 | 35 台 | 内３台コードレスタイプ |

## 1.2 搬入

搬入経路、その他現場の状況を考慮し、安全に据付場所へ搬入すること

## 1.3 試験

機器据付作業完了後、総合試験を行うこと

## 1.4 検査および検収

本仕様書に基づき検査を行い、合格をもって検収とすること

## 1.5 保証

検収後 1 年以内に設計、製作および作業不良によると認められる事故が発生したときは、すみやかに修理を行うこと

## 1.6 申請手続

本作業の施工、完成に必要な通信事業者への申請手続きの請負者による代行

## 1.7 保守

検収後、電話交換システムの機能を完全に維持し、電気通信の円滑な運用を行うため、別途定期保守契約を締結すること

# 2. IP 電話交換機 機器仕様

## 2.1 IP 電話交換機

### 2.1.1 概要

(1) 本 IP 電話交換機は、IP 電話交換機本体、電話機、電源装置、他周辺装置により構成され、下記の通話を行うことを主な目的とする

ア　内線相互通話

イ　内線と外線間通話

ウ　内線と専用線間通話

エ　自動音声通話機能による着信電話振分

(2) 本 IP 電話交換機、構内交換設備に関する技術基準及び関係ある法令規格等を満足するものとすること

### 2.1.2 方式

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 通話路方式 | PCM 時分割一段スイッチ |
| 制御方式 | 蓄積プログラム |
| プロセッサ | 64 ビットマイクロプロセッサ |
| 中継方式 | 中継台方式（DSS コンソール)、個別着信方式、分散応答方式、追加ダイヤルイン方式、直結式応答方式、NTT ダイヤルイン方式 |

### 2.1.3 信頼性

(1) 信頼性を高めるためのハードディスクレス構造
(2) IP 電話交換機の OS として、Windows 系、Linux 系 OS の不採用
(3) 内線パッケージ等のパッケージ類の活線挿抜機能
(4) IP 電話交換機内での局データの５世代管理機能

### 2.1.4 トラヒック条件

内線電話機 1 回線あたりの標準発着呼量は 7.2HCS

### 2.1.5 収容回線数

| 種別 | 項目 | 実装 | 容量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 内線 | 一般内線 | 35 | 36 | |
| | デジタル多機能内線 | 25 | 32 | |
| 外線 | INS ネット 64 | 2 | 2 | |
| | 一般公衆回線 | 3 | 4 | |
| 端末 | デジタル多機能電話機 | 25 | 32 | |
| | アナログ一般電話機 | 35 | 36 | |

### 2.1.6 番号計画

| 番号 | サービス機能 | 備考 |
|---|---|---|
| 1 | 1＊＊ | ３桁内線番号 |
| 2 | 2＊＊ | ３桁内線番号 |
| 3 | 3＊＊ | ３桁内線番号 |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | 8＊＊ | サービス特番 |
| 9 | 9＊＊ | サービス特番 |
| 0 | 0 | 外線発信 |
| * | | |
| # | | |

### 2.1.7 電気的条件

#### (1) 電源

AC100V±10%

#### (2) ダイヤル条件

| 項目 | 条件 |
|---|---|
| PB 式ダイヤル | PB 信号 |
| DP 式ダイヤル：ダイヤルスピード | 10±0.8PPS、20±1.6PPS |
| DP 式ダイヤル：インパルスメーク率 | 33±3% |
| DP 式ダイヤル：ミニマムポーズ | 600ms 以上(10PPS)、450ms 以上<br>(20PPS) |

#### (3) 内線/トランク線路条件

| 項目 | 条件 |
|---|---|
| アナログ内線(ループ抵抗) | 一般内線:600Ω または 1,500Ω(電話機抵抗含む) |
| デジタル内線 | 600m(0.5Φ)、800m(0.65Φ) |
| 一般公衆回線 | 1,700Ω(所属局内部抵抗含む) |

### 2.1.8 IP インタフェース

| 項目 | 条件 |
|---|---|
| | |
| LAN インタフェース | 10M /100M / 1000M bps イーサネット |
| 音声符号化方式 | G.711, G.729a, G.722, G.726 |
| QoS | ToS(IP Precedence、Diffserve(DSCP)) |
| VLAN | TagVLAN(IEEE802.1Q/p) |

### 2.1.9 構造

(1) 基本モジュール＋拡張モジュール および19 インチモジュールの専用ハードウェアによる高信頼性の確保と保守点検が容易な構造
外形寸法は以下の通り
ア　基本モジュール＋拡張モジュール（1 架あたり）:
369mm(W)×116mm(D)×430mm(H)
イ　19 インチモジュール（1 架あたり）：430mm(W)×409mm(D)×88mm(H)

(2) 柔軟な拡張性を有し、内線最大960 ポート、外線最大400 ポートまでの拡張機能

(3) 欧州 RoHS 指令に適合し、有害物質を定められた閾値以上含有していない使用部品

### 2.1.10 環境条件

(1) 周囲温度：0℃～40℃

(2) 相対湿度：10％～90％(結露しないこと)

### 2.1.11 サービス機能

別紙のサービス機能に対応可能であること

### 2.1.12 電源

IP 電話交換機の電源仕様
入力(AC)：100V±10％

## 2.2 IP 電話交換機停電用長寿命電池

停電対応最大 3 時間とし、以下の温度環境に応じた長寿命バッテリー
・25℃以下：バッテリー交換時期は13 年後
・25℃～30℃：バッテリー交換時期は９年後
・30℃～40℃：バッテリー交換時期は４年後

# 3. 端末 機器仕様

## 3.1 デジタル多機能電話機

### 3.1.1 機能ボタン数

24 ボタン（40 ボタンに増設可能）および保留、転送、フッキングの固定機能ボタン

### 3.1.2 LCD ディスプレイ

全角 14 文字×4 行表示（バックライト付き）の可動式仕様
サイズは 92mm(W)×56.5mm(H)以上、168×58 ドットマトリックス以上

### 3.1.3 外形

181mm(W)×244mm(D)×143mm(H)

### 3.1.4 ケーブル

２芯モジューラーケーブル

### 3.1.5 その他機能要件

(1) アダプタ増設による外部通話録音装置の接続機能(※アダプタは別途調達)

(2) テンキーおよび LCD ディスプレイにバックライトを搭載したユニバーサルデザイン仕様。テンキー輝度半減機能、弱視者を考慮した LCD ディスプレイの白黒反転および縦倍角文字表示機能

(3) 不在着信や新規ボイスメール受信時における LCD ディスプレイ上へのアイコン表示機能

(4) 電話機の利用状況によって適切な操作をサポートするソフトキー機能

(5) 操作教育や問合対応の煩雑化回避を目的とした、IP 多機能電話機と同一の盤面（各ボタンの位置、形、数)、機能、操作性
(6) 発信 50 件、着信 50 件の発着信履歴蓄積機能
(7) 白色、黒色の 2 色から選択可能な同一タイプのデジタル多機能電話機
(8) 着信時に点滅するランプカラーの６色からの選択機能
(9) あらかじめ内蔵された３曲のミュージックからの着信鳴動音選択機能
(10) 半二重、全二重から選択可能なハンズフリー動作モード

### 3.2 アナログ一般電話機

#### 3.2.1 機能ボタン

送話ミュート、リダイヤル、フック、保留

#### 3.2.3 外形

154mm(W)×222mm(D)×107mm(H)

#### 3.2.4 ケーブル

２芯モジューラーケーブル

#### 3.2.5 その他機能要件

(1) ３種類の中から選択可能な呼び出し音色
(2) 受話音量および呼出音量の調整機能
(3) 白色、黒色の２色から選択可能な同一タイプの電話機

## 4. 付帯装置 機器仕様

### 4.1 保守コンソール

#### 4.1.1 構成

保守コンソール用アプリケーション 1

#### 4.1.2 機能要件

(1) 局データの新規登録、変更、削除作業、およびオンライン状態での局データ生成、変更設定機能
(2) 項目毎に閲覧可能な各種アラーム情報
(3) パッケージの実装状態およびスイッチ設定状態の読み出し、表示機能

別紙. 対応サービス機能一覧

1. 外線／専用線機能(1/2)

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| NTT ダイヤルイン | 公衆網の一般加入者から NTT ダイヤルイン番号をダイヤルすることにより直接システムの内線を呼び出す機能 |
| NTT ダイヤルイン呼番号名称表示 | ダイヤルイン着信時に呼番号と予め設定された名称を表示することが可能 |
| ナンバー・ディスプレイ | ナンバー・ディスプレイ機能に対応可能 |
| ネーム・ディスプレイ | ネーム・ディスプレイ機能に対応可能 |
| INS ネット 64,INS1500 | INS64,INS1500 を外線として接続可能 |
| INS64,INS1500 S 点収容 | INS64,INS1500 を内線として接続可能 |
| ボイスワープ | ボイスワープサービスに対応可能 |
| ナンバー・リクエスト | ナンバー・リクエストサービスに対応可能 |
| ｉナンバー | i ナンバーサービスに対応可能 |
| 着サブアドレスダイヤルイン | 着サブアドレスを内線番号として、特別な設定なしに内線端末を呼び出すことが可能 |
| 発サブアドレス通知 | 発信時に内線番号を発サブアドレスとして通知することが可能 |
| 発信者番号通知 | 発信時に予め設定されている発信者番号を付加して発信することが可能 |
| 発信者番号選択通知 | 発信時に発信者番号を選択して発信することが可能 |
| P-P,P-MP 接続 | INS64 において、P-P 及び P-MP 接続に対応可能 |
| 空外線自動選択 | 内線よりアクセスコードダイヤルにより外線を捕捉し、直接発信する機能<br>発信回線がすべて使用中のとき、あらかじめ設定された迂回パターンに従って、別ルートの空き発信回線を選択する機能。また専用線全話中時の公衆回線への迂回も可能 |
| 索線式外線発信 | 外線発信において割り付けられた機能ボタン操作にて予め決められている外線グループを指定して発信回線を捕捉することが可能 |
| 外線グループ捕捉 | 外線発信においてサービス特番から予め決められている外線グループを指定して発信回線を捕捉することが可能 |
| 外線選択発信 | 外線発信において機能ボタンもしくはサービス特番から捕捉する外線を指定して発信することが可能 |
| ワンタッチダイヤル | 多機能電話機のワンタッチキーにあらかじめ発信先電話番号を登録しておけば、ワンタッチキー押下だけで発信することが可能 |
| 追加ダイヤル | 短縮ダイヤルやワンタッチボタンなので電話をかけるとき、続けて相手部署の内線番号などを押して、かけることが可能 |
| 再ダイヤル | 最後に発信した外線番号で、簡易な操作によって再度発信することが可能 |
| セーブドナンバーリダイヤル | 通話中に、今かけている電話番号を再ダイヤルとは別に１件だけ登録することが可能 |
| リピートダイヤル | 一度発信した外線が話中だった場合、サービスコードを入力することにより一定間隔で自動的に発信を繰り返すことが可能 |
| メモダイヤル | 通話中に、任意の電話番号を１件だけ登録することが可能 |
| 外線発信規制 | 発信規制クラスを設定された内線からは定められた特定地域への市外発信が可能で、その他の地域への市外発信はできないように接続規制可能 |
| キャリアコード編集 | 発信時にキャリアコードを予め設定されたコードに変換して発信することが可能 |

| | |
|---|---|
| ナンバー・ディスプレイ識別着信/識別着信拒否/非通知着信拒否 | 着信時に、ナンバー・ディスプレイ表示をもとに着信することが可能。また、ナンバー・ディスプレイ表示をもとに着信を拒否することも可能。また、非通知着信を拒否することも可能 |
| 外線着信選択応答 | 外線からの複数着信に対して選択して応答することが可能 |
| 外線着信自動応答 | 外線着信をオフフックだけで自動的に応答することが可能 |
| 話中着信 | 通話中でも、着信を表示し、応答することが可能 |
| 分散応答 | 予め内線電話機をグループ化し、グループ内で着信を均等にすることが可能 |

2. 外線／専用線機能(2/2)

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| 外線予約 | 外線発信においてトランク全話中の場合、キャンプオンサービスコードをダイヤルし、そのまま待機する機能。外線が空きになり次第、外線を捕捉するよう予約をすることが可能 |
| 外線コールバック | 外線発信においてトランク全話中の場合、キャンプオンサービスコードをダイヤルする機能。外線が空きになり次第、該当内線が呼び出され、応答すると外線を捕捉するよう予約をすることが可能 |
| 共通短縮名称表示 | 予め電話番号と名称をシステムの短縮番号に登録してあれば、着信時に発信者番号に対応する名称を表示することが可能 |
| 共通短縮付加情報表示 | 予め電話番号毎にメモを登録してあれば、着信時に発信者番号に対応するメモ内容を簡単な操作で表示させることが可能 |
| 追加ダイヤルイン(DID) | PB 電話機使用の公衆網加入者は追加ダイヤルイン回線番号をダイヤルし、アナウンスあるいは特殊トーンを聞いたあと、内線番号をダイヤルすることにより、直接内線を呼び出すことが可能 |
| ダイレクトインライン(DIL) | 指定した外線からの着信を予め設定した内線に着信させることが可能 |
| ダイレクトインワードシステムアクセス(DISA) | 指定した外線からの着信にシステムが自動応答し、続けてパスコードの入力を待ち、パスコードによる認証に成功したら内線サービスにアクセスさせるよう、設定することが可能 |
| 外線フッキング | 外線と通話中にキャッチホンでかかってきた電話に応答することが可能 |
| 外線転送（自動/手動） | 外線着信を、事前の設定により自動的に転送することが可能。また、簡易な操作により転送することも可能 |
| ステップ転送 | 外線からの着信を転送後、転送先が一定時間内に応答せず、タイムアウトした場合、さらに別の外線へ転送することが可能 |
| 外線別着信音 | 多機能電話機において、外線毎に着信音を鳴り分けるよう設定可能 |
| 外線名称表示 | 予め外線毎に名称を設定することにより、該当する外線着信時に名称を表示することが可能 |
| Ｆルート | 発信時にダイヤルを分析し、予め用意された変換テーブルどおりにダイヤルを編集し、指定された経路で発信するよう設定することが可能 |
| 通話中の PB 信号送出 | 外線または内線（相手がアナログ一般電話機などの場合）と通話中、電話情報サービスの番号入力などのためにＰＢ信号を送出する機能 |
| OD 専用線収容 | OD 方式の専用線を接続可能 |
| LD 専用線収容 | LD 方式の専用線を接続可能 |
| タンデム接続 | 複数のシステムを専用線で接続して、専用線経由で他システムから発信することが可能 |

| | |
|---|---|
| 閉番号方式 | システム間接続にて複数のシステムで運用する際、閉番号方式で番号を計画することが可能 |
| 開番号方式 | システム間接続にて複数のシステムで運用する際、開番号方式で番号計画することが可能 |
| 話中時の局線迂回 | システム間の回線が塞がっている場合、他の経路に迂回することが可能 |
| ルート選択パターン | システム間接続にて発信する際に、ルート選択をいくつかのパターンを設定しておくことが可能 |

3. **内線機能(1/2)**

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| 内線呼出（内線相互接続） | 内線電話機の内線番号をダイヤルすることにより呼び出し、通話することが可能 |
| 内線代表呼出 | 内線電話機個々をグループ設定し、グループの代表番号をダイヤルすることでグループの内線電話機を呼び出すことが可能 |
| パイロット着信方式 | 内線代表呼出設定で、常に決められた内線電話機から呼び出すよう設定することが可能 |
| 簡易 UCD 着信方式 | 内線代表呼出設定で、前回着信した内線電話機の次の順番に設定されている内線電話機に着信するよう設定することが可能 |
| ステップコール | 内線にかけた相手が応答しない場合、そのまま電話を切らずに相手と同じグループ内の他の内線電話機にかけ直すことが可能 |
| 内線ホットライン | 決められた相手に、オフフックだけで発信するよう設定することが可能 |
| 自グループ代理応答 | 自分の所属するグループに着信があった場合、代理で応答が可能 |
| 他グループ代理応答 | 他のグループに着信があった場合、代理で応答することが可能 |
| グループ指定代理応答 | 自分が所属するグループではないグループ着信において、応答するグループを指定して代理で応答することが可能 |
| 内線ページング(一斉/グループ) | 多機能電話機のスピーカを使って全電話機または、グループに所属する電話機に対し、一斉に音声呼び出しをかけることが可能 |
| 内線ページング転送 | 内線ページングを利用して保留呼を転送することが可能 |
| 内線予約 | 話中の内線電話機に対し、そのまま待機し相手の通話が終わり次第呼び出すように設定することが可能 |
| 内線コールバック | 話中の内線電話機に対し、一旦電話を切り、相手の通話が終わり次第呼び返すように設定することが可能 |
| リセットコール | 発信した相手が応答しない場合に、他の内線電話機にかけ直すことが可能 |
| バイパスコール | 発信した相手が不在設定中や、着信拒否設定中でも、緊急で呼び出すことが可能 |
| 信号/音声呼出切替 | 発信した相手の呼び出し方法を、信号呼→音声呼、またはその逆に切り替えることが可能 |
| 話中呼出 | 通話中の相手を緊急で呼び出すことが可能 |
| コールウェイティング | 通話中に緊急呼び出しを受け、応答することが可能 |
| ルームモニタ | 会議室の様子を電話機から聞くことが可能 |
| 幹部着信転送 | 幹部宛の電話などを、常に秘書が応答してから取り次ぐように、ボタンひとつで設定することが可能 |

| | |
|---|---|
| ブザー | 電話機でブザー呼出をかけることが可能 |
| テキストメッセージ | 発信者に対し、予め設定した不在理由をテキストで表示して知らせることが可能 |
| 在席表示システム | ＤＳＳコンソールで、在席表示が可能 |
| 伝言（メッセージウェイティング） | ホテルの客室用電話機のメッセージウェイティングランプに、伝言表示をして、フロントで伝言を預かっていることを知らせることが可能 |
| 内線番号表示 | 着信時に、かけて来た相手の内線番号を表示することが可能 |
| 内線名称表示 | 着信時に、予め設定されていればかけて来た相手の名称を表示することが可能 |
| 内線発呼者氏名、番号表示 | 着信時に、かけて来た相手の内線番号と、予め設定されている名称を同時に表示することが可能 |
| 長距離内線 | －４８Ｖ給電が必要なアナログ電話機を接続することが可能 |
| オンフックダイヤル | オンフック中に短縮等でダイヤルした場合、番号を選択して決定した時点で自動的に空いている外線を捕捉して発信することが可能 |
| プリセットダイヤル | オンフック中に発信先の電話番号をダイヤルし、その番号を確認してからオフフックすることで実際に発信することが可能 |
| 短縮ダイヤル（共通/グループ/個別） | 頻繁に電話をかける相手先には、あらかじめ短縮ダイヤル番号を設定しておきます。長い桁数の電話番号の代わりに、短い桁数の短縮アクセスコード(発信)と短縮ダイヤル番号をダイヤルするだけで相手を呼び出すことが可能 |
| 検索発信 | 予め登録した電話帳データを検索して発信することが可能 |

4. **内線機能(2/2)**

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| 機能クラス | 内線電話機毎に機能クラスを設定し、内線サービスのアクセス可/不可を設定することが可能 |
| 内部保留音 | 予めシステム内に６曲の保留音用音源を搭載。その他にダウンロードで２曲追加可能。予めシステム内に用意された６曲は従来の音源 IC に比べ高音質仕様 |
| 外部保留音源接続 | 外部機器接続により保留音源とすることが可能 |
| BGM | 多機能電話機のスピーカに、外部保留音源用装置の音を BGM として流すことが可能 |
| 保留（個別/共通/パーク/内線グループ） | 通話を個別、共通、パーク、内線グループで保留する機能 |
| 自動保留 | 通話中の他の内線/外線にボタンを使って取り次ぐ際、保留動作をしなくても自動的に保留とすることが可能 |
| 保留警報 | 長時間放置されている保留呼があることを、警告することが可能 |
| 保留再応答 | 保留した呼に再度応答することが可能 |
| 被保留転送 | 他の人の通話が終了した後、自分につながるようにすることが可能 |
| フォローミー | 転送設定を、移動先の電話機から設定することが可能 |
| 不在着信転送 | 自分宛の電話を全て転送することが可能 |
| 呼出状態転送（着信音転送） | 内線が通話中の相手を他の内線に転送するとき、転送先の内線番号をダイヤルして転送先内線が応答する前に転送する機能 |

| | |
|---|---|
| オンフック自動転送 | 通話相手を保留し、転送先を呼び出して通話中に、オンフックすることで保留相手と転送先を通話状態にすることが可能 |
| 会議通話 | 電話で会議をすることが可能 |
| グループリスニング | 通話相手の声を自分の電話の周りの人にも聞かせることが可能 |
| 通話割り込み | 他の電話機の外信、内線通話に割り込んで、通話に参加することが可能 |
| 運用モードの切替（自動/手動） | システム全体の運用モードを、予め設定した内容に従って自動/手動にて切り替えることが可能 |
| 着信転送 | 転送を設定中に着信すると、転送先の電話機だけ着信音が鳴り、応答することが可能 |
| 着信拒否 | すべての着信をかからないようにするよう一時的に設定することが可能 |
| ハンズフリー通話 | 受話器を置いたまま通話することが可能 |

5. **ボイスメール機能**

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| 外線自動通話録音 | 外線との通話が開始されたのと同時に録音操作することなく自動的に通話録音するよう設定することが可能 |
| 再録音 | 通話録音中に、録音を中止してそれまでの録音を消去し、改めて再度録音を開始することが可能 |
| ポーズ（一時中断） | メッセージ再生中に再生を中断可能。また、通話録音中に保留すると、通話保留と同時に通話録音を一時中断することが可能 |
| 通話録音取り消し | 通話録音を取り消すことが可能 |
| 留守番伝言再生中の発信者番号通知 | メッセージ再生中に、発信者番号を表示することが可能。発信者番号が表示されている場合、発信ボタンを押すことで、発信することが可能 |
| 携帯電話・ＰＨＳの呼び出し | メッセージが録音されたときに、予め設定された携帯電話・ＰＨＳへ自動呼び出しをかけることが可能 |
| 聞き取り（再生） | 録音されたメッセージを内線、外線より再生することが可能 |
| メッセージコピー | 聞き取ったメッセージを、そのまま他の人のボイスメールボックスにコピーすることが可能 |
| メッセージ消去 | 聞き取ったメッセージを、ボイスメールボックスから消去することが可能 |
| メッセージ全消去 | ボイスメールボックスにあるメッセージをすべて一括で消去することが可能 |
| パスワード設定 | ボイスメールボックス毎にパスワードを設定可能 |
| 応答メッセージ登録 | 留守番サービス設定時の、応答メッセージを自分で録音することが可能 |
| 話中代行 | 通話中の着信をボイスメールで代行応答することが可能 |
| 外線留守番電話 | 夜間、休日などに指定された外線の着信を、ボイスメールの留守番電話で応対させることが可能 |
| 内線留守番電話（着信代行） | 内線や外線から直接着信した呼に、ボイスメールが応対するよう設定することが可能 |
| 外線からの聞き取り | 外線よりボイスメールボックスのメッセージを聞き取ることが可能 |
| ボックス指定録音 | 録音するボイスメールボックスを指定して録音することが可能 |
| 宛先不明処理（呼び返し、宛先不明ボックス） | 通話録音の宛先不明時の処理を、設定可能。さらに、呼び返し設定をした場合の呼び返し先を設定可能 |
| ヘルプガイダンス | 操作を音声でガイダンスすることが可能 |

| | |
|---|---|
| タイムスタンプ | 録音されたメッセージ毎に、音声によるタイムスタンプを付加することが可能 |
| スキップ | 再生中のメッセージを飛ばして、次のメッセージを再生させることが可能 |
| バックスキップ | 再生中のメッセージを飛ばして、ひとつ前のメッセージを再生させることが可能 |
| メッセージ連続再生 | ボイスメールボックスに格納されているメッセージを順番に連続で再生が可能 |
| メッセージ自動消去 | 予め設定された時刻にメッセージを自動的に消去することが可能 |
| オートアテンダント（DID/DISA） | 外線の着信タイプを DID/DISA に設定されている場合、システムにてダイヤルトーンの代わりに音声メッセージにて応答することが可能 |
| 1 桁オートアテンダント | オートアテンダント機能において、応答音声メッセージ送出後にダイヤルを１桁入力待ちとし、入力されたダイヤルに拠って呼び先を決定するよう設定することが可能 |
| 着信おまたせメッセージ | 着信にすぐ応答できない場合や、電話受付担当者が少ない場合に、発信者に対しお待たせする音声案内を送出することが可能 |
| VRS 同報メッセージ | 予め録音しておいたメッセージを時間を指定して一斉に同報メッセージとして呼び出し、メッセージ送出することが可能 |
| 圏外トーキー送出 | 内線に登録されている、PHS/WLAN 端末が無線圏外の場合、音声にて圏外である旨をお知らせすることが可能 |
| 同報メッセージコピー | ひとつのメッセージを一度に複数の人のメールボックスにコピーすることが可能 |
| 同報短縮登録 | 複数のメールボックス番号をひとつの代表番号に短縮登録することが可能 |
| 応答メッセージ登録（3 種類） | ボイスメールボックス毎に応答メッセージを登録することが可能。設定により、電話機の状態によって応答メッセージを変更することが可能 |
| ガイダンスの英語対応 | 音声ガイダンスを英語に設定することが可能 |
| 長時間通話録音機能 | 専用の通話録音アプリケーションユニット利用で最大 10,000 時間の通話録音が可能 |
| さかのぼり録音機能 | 通話中でも通話内容を最初からさかのぼって録音することが可能 |

## 6. 多機能電話機

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| 日付・時計表示 | 多機能電話機の LCD 画面に、日付・時計を表示可能。NTP 機能に対応 |
| ネーム・ディスプレイ漢字表示 | ネーム・ディスプレイ情報を多機能電話機の LCD 画面に漢字で表示可能 |
| 電話帳 | システム共通の電話帳を登録可能 |
| 発信/着信履歴 | 電話機毎に発信履歴と着信履歴を持つことが可能。1 画面に 1 件ずつ表示するか、3 件ずつ表示するか選択可能 |
| 応答プリセット | 受話器を取る前に、応答するボタンを先押しすることが可能 |
| 多国語表示 | LCD 画面表示の文字を複数の言語で表示可能 |
| 受話音量調節 | 電話機毎に受話音量を設定可能 |
| LCD ディスプレイ画面の倍角表示 | LCD 画面の文字を縦倍角に設定可能 |
| LCD ディスプレイ画面の白黒反転表示 | LCD 画面の文字と背景を白黒反転表示に設定可能 |
| セキュリティ機能 | 多機能電話機毎にセキュリティボタンにて操作をブロックすることが可能 |

| | |
|---|---|
| ソフトキー | LCD の表示と LCD 画面下の固定ボタンによりソフトキー操作が可能 |
| 通話料金/積算料金表示 | 通話料金、積算料金の表示が可能 |

7. デジタルコードレス電話

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| マルチライン対応 | 1 台のデジタルコードレス電話機に複数の電話番号を割り当てることができ、外線着信時にだれからどの電話番号に電話がかかってきたかを認識することが可能 |
| 高速ハンドオーバ | デジタルコードレス電話を持ち歩いて通話した場合、より電波の強いデジタルコードレス電話用アンテナにつなぎなおしますが、通話にあまり影響のないハンドオーバが可能 |
| デジタルコードレスローミング | 異なる拠点に移動しても、同じ内線番号でデジタルコードレス電話を内線呼出することが可能 |
| Simple メール | テキストメッセージの送受信が可能 |
| 簡易トランシーバ機能 | システムの電波の範囲外でも、トランシーバとしてデジタルコードレス電話同士で通話が可能 |
| 圏外転送 | デジタルコードレス電話がシステムの電波圏外の場合、予め設定された転送先に転送することが可能 |
| ハンディナースコール | 接続確認を実施したナースコールシステムと連動させてデジタルコードレス電話機やスマートフォンをナースコール子機として利用可能 |

8. 外部機器との汎用通信Ｉ／Ｆ

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| USB インタフェース | CCPU 上に USB1.1/2.0 のインタフェースを持ち、各種データの入出力が可能 |
| 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T | CCPU 上に 1000BASE-T / 100BASE-TX/10BASE-T のインタフェースを持ち、各種情報の入出力が可能 |

9. 外部機器接続

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| ガイドホン | ガイドホンを接続することが可能 |
| ドアホン | ドアホンを接続することが可能 |
| ドアホンロック開錠 | ドアホンロックを施錠/開錠することが可能 |
| 構内放送(アンプ・スピーカ等) | 構内放送装置を接続することが可能 |
| 外部リレー制御 | 外部リレーからの入力によりシステムを動作させることが可能。<br>また、電話機の操作により外部リレーの制御を行うことが可能 |

10. 機器設定・保守・メンテナンス

| サービス機能 | 機能内容 |
|---|---|
| DISA によるリモート設定 | 外線を DISA 設定することにより外線経由で各種設定が可能 |
| 停電切替 | 停電時は外線を内線端末に切替えて直結させることが可能 |
| 停電バッテリーバックアップ | 専用のバッテリーを実装することにより、停電時でもバッテリーにより稼動させることが可能 |
| 端末リロケーション | IP 内線端末は、同一ネットワーク内であれば設定の変更なしで場所の移動が可能 |
| ユーザーマネジメントツール | PC から電話帳データ・短縮データ・発信規制データ・UC アカウント情報の編集・ボイスメール管理や発信履歴、着信履歴のバックアップを行うことが可能 |
| ユーザープログラミング | システムを運用するための基本設定や電話機毎の各種設定などを PC のブラウザを利用して行うことが可能 |

| | |
|---|---|
| PC プログラミング | システムを運用するための各種設定を、専用の PC アプリケーションを利用して行うことが可能 |
| Web プログラミング | 作業者が PC のブラウザを利用してシステムの各種設定を行うことが可能 |
| リモートメンテナンス | アナログ回線、ISDN 回線及び IP 回線を利用したリモートメンテナンスが可能 |
| 障害情報アラーム表示 | システムが検出するアラーム情報を予め設定された表示先に表示させることが可能 |
| トラフィックレポート | システムが観測したトラフィック情報をレポートにして出力することが可能 |
| アラームレポート | システムが検出したアラーム情報をレポートにして出力することが可能 |
| SNMP 対応 | SNMPv1 に対応可能（標準 MIB） |
| データコネクト接続 | ひかり電話を使ったデータコネクト接続によるリモートメンテナンスが可能 |
| ソフトウェアアップデート機能 | クラウド上のメンテナンスサーバに定期的にアクセスして、最新 of メインソフトウェアを自動的にダウンロードすることが可能 |
| NetMeister | クラウド型管理サービスを利用することで、リモートメンテナンスやネットワーク機器の装置情報を一元管理することが可能 |